

テーマ

『社会福祉士としての

ミッションを考える』

～ 激動の時代だからこそ原点に戻ろう～

【社会福祉士共通基盤研修とは】

平成20年度まで実施されていた「社会福祉士全国統一研修」に代わり、各都道府県支部において社会福祉士の共通基盤6領域の研修を計画的に実施していくものです。我々社会福祉士が価値・知識・技術の共通基盤を共有することで、私たちが日頃の実践力を担保することができ、また責任と能力と誇りを持つことができるのです。

【今回のテーマについて】

社会福祉士としてのミッションとは何か。私たちは常に安定した平穏な生活を願い、またそのために日々励んでおりますが、今激動の現代においていつ何時何が起きるかわかりません。我々社会福祉士はますます多様化する複雑な福祉ニーズに応じていかなければならず、知識経験だけでは対応しきれないこともあるのではないのでしょうか。

今回はそういう時代だからこそ原点に戻ろうということで、社会福祉士としてのミッションを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。ぜひ研修を受けるだけでなく我々社会福祉士一人一人が一緒になって「社会福祉士とは何か」「ミッションは何か」を問い続けたいと思います。

【社会福祉士共通基盤6領域について】

本研修では、「社会福祉士がとらえる相談援助」、「社会福祉士がとらえる地域支援」、社会福祉士がとらえる福祉経営」の3領域について実施します。

社会福祉士にとって大切なことは、利用者を属性（法制度の適用による年齢や医療的区分）で捉えるのではなく、ICFの視点をきちんと踏まえ、一人ひとりの生活実態を踏まえることと、一人の人間としての生存権に根ざして福祉ニーズに迫っていくことです（参照：「新 社会福祉援助の共通基盤 第2版」）。

本研修は、社会福祉士共通基盤に基づくテキストであります「新 社会福祉援助の共通基盤 第2版（中央法規出版）」に沿って行なわれます。

「社会福祉士共通基盤研修の開催について」

社団法人大阪社会福祉士会

会長 渡部 健志

社会福祉士共通基盤研修の開催にあたり、一言あいさつを申し上げます。

従前の全国統一研修に代わりまして、各都道府県支部において行うこととなった社会福祉士共通基盤研修は、新たに出発して2年目を迎えました。大阪社会福祉士会では「社会福祉士共通基盤研修」が、生涯にわたって学ぶべき共通研修課程の基幹的な研修として考えております。また日本社会福祉士会が設定している社会福祉士の共通基盤6領域について、この研修会は計画的に実施していくものでもあります。

我々社会福祉士は、どの分野、どの機関、どの職種に勤務していても社会福祉士としての共通基盤に根ざした実践を展開し、社会福祉士としてのジェネリックな力量を形成しておくことが不可欠です。今回の「社会福祉士としてのミッションを考える～激動の時代だからこそ原点に返ろう～」はまさに現代社会の中で社会福祉士に何が求められているのかを考える良い機会になるかと存じます。皆さまには、この研修を受講して自己研鑽を積み、より専門性を向上させていただきますようお願い申し上げます。

.....

参加資格

社会福祉士を取得されている方

参加費

会 員：4000円 非会員：6000円

今年度社会福祉士会に入会していただける方は会員価格で受講していただけます。

定員 100名（各分科会50名）

分科会は先着順で振り分けますのでご希望に添えない場合があります。

単位数 5単位（午前：2単位・午後：3単位）

支払方法

当日お支払願います。

申込方法

専用の申込書にご記入の上、大阪社会福祉士会事務局にFAX送信願います。

* くれぐれも番号をお間違えなきよう、お願いいたします。

FAX 番号（06 - 4304 - 2773）

申し込み締め切り

7月10日（土）必着

プログラム内容

基調講演：社会福祉士共通基盤 6 領域【社会福祉士がとらえる福祉経営】

(テーマ)

「ボランティアの可能性と福祉経営」

(内容)

福祉経営という視点には、利用者やステークホルダー(関係者)の組織経営への参加、地域社会との関係を深め地域に貢献していく地域福祉の推進といった福祉理念に基づいた総合的な視点が求められる。しかし、現実には、福祉事業の市場化・規制緩和といった流れの中で、いわゆる企業経営のように、事業規模及び市場シェアの拡大や、効率的な組織運営といった点が強調されがちになっている。

そこで、本研修では社会福祉士に専門職として求められる「福祉経営」の視点について、特に参加と協働・地域福祉の推進に焦点を当てて論じ、社会福祉士が社会福祉事業を運営する組織のマネジメントに関わるための基本的な視点を理解することを目的とする。

永田祐(同志社大学)

選択講座 1：社会福祉士共通基盤 6 領域【社会福祉士がとらえる相談援助】

(分科会テーマ)

「ソーシャルワークのプロセスとしてのアセスメント
～社会福祉士の使命に根ざした利用者理解の営み～」

(内容)

社会福祉士が担うソーシャルワークの実践は、いうまでもなく専門職としての対人援助の実践である。その実践は、決していきあたりばったりの実践ではなく、確かな根拠に基づいた援助の過程(プロセス)そのものである。この分科会では、ソーシャルワークにおけるアセスメントとしての利用者理解に焦点を当てて考察してみたい。ソーシャルワークが対象とするのは、生活者としての利用者(クライアント)であり、その個別性の高い生活の状況である。利用者をどのように援助するかを見出すためには、利用者をどのように理解するかが重要である。社会福祉士の使命に根ざしたアセスメントのあり方を参加者と共有したい。

空閑浩人(同志社大学)

選択講座 2：社会福祉士共通基盤 6 領域【社会福祉士がとらえる地域支援】

(分科会テーマ)

「社会福祉士が実践する地域支援の視座と方法」

(内容)

今日、社会福祉士が専門職としてどのように地域支援を展開していくのかということが問われています。しかし、多くの人にとっては「地域支援」といわれても、実感がわかないのが正直なところではないでしょうか？

そこでこの研修では、まず講義で地域支援の内容や方法を確認したうえで、演習を通じて社会福祉士が地域支援を実践していくうえでの視座と方法について、具体的な事例をふまえて学んでいくことにします。そのポイントは「福祉サービスの利用者」としてではなく、「地域で暮らすひとりの住民」として、その人に寄り添いながら支援を展開していけるのかということにあるといえます。一緒に地域福祉実践の醍醐味を学びましょう。

松端克文(桃山学院大学)

会場

大阪市社会福祉研修・情報センター（大阪市西成区出城2丁目5番20号）

日 程

8月8日（日）

9時 30分	受付開始	
10時 0分	開会式 主催者挨拶	会議室1
	(生涯研修制度改革、共通基盤、今回テーマと 専門社会福祉士について)	
10時 30分	基調講演：福祉経営	(4階)
	(テーマ) ボランティアの可能性と福祉経営	
	講師 同志社大学 永田 祐	
12時 0分	昼食休憩	
13時 0分	選択講座	
	第1分科会：相談援助	会議室1
	(テーマ) ソーシャルワークのプロセスとしての アセスメント ～ 社会福祉士の使命に根ざした利用者理解 の営み～	(4階)
	講師 同志社大学 空閑 浩人	
	第2分科会：地域支援	会議室2
	(テーマ) 社会福祉士が実践する地域支援の視 座と方法	(5階)
	講師 桃山学院大学 松端 克文	
16時 50分	閉会式 (各分科会ごと)	
17時 0分	終了	



以下の申込書にご記入の上、大阪社会福祉士会 事務局

(FAX : 06 - 4304 - 2773) にお申込み願います。

* F A X 番号はお間違えないようご注意願います。

参加申込書

(申込日) 月 日

大阪社会福祉士会 共通基盤研修

氏名		職種	
日中の 連絡先	TEL (携帯):		
	アドレス: @		
会員 (会員番号:) (支部)		非会員	
会員の方へ: 会員番号は間違いを防ぐために、必ずご記入下さい。			
選択講座 どちらかに	選択講座 第1分科会	選択講座 第2分科会	
分科会は先着順です。ご希望に添えない場合があります。			
参加動機			
その他 (質問等)			

会場案内

研 修 会 場	<p>大阪市社会福祉研修・情報センター (大阪市西成区出城2丁目5番20号)</p> <p>アクセス 地図 交通機関</p> <p>大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20</p> <ul style="list-style-type: none"> 徒歩約10分 地下鉄四つ橋線「花園町」駅(2号出口)から徒歩約15分 市バス「長堀二丁目」バス停すぐ7系統(あべの橋~住吉川西)、48A系統(なんば~地下鉄花園町~あべの橋)赤バス:(西成西ルート)
------------------	--